

未来へつなげよう平和の尊さ大切さ 被爆体験記録集で語られた、 当時小学生だった私の記憶

図総務課総務係 ☎5722-9205、☎5722-9409

終戦から77年がたとうとしています。戦争の記憶が薄れつつある今、戦後75周年記念に作成した被爆体験記録集から、当時広島で小学生だった、堀田さんの被爆体験を紹介します。区は、平和の尊さ、大切さを未来へつなげていくために、さまざまな平和記念事業を行います。

私の原爆記 堀田 和子

その日は朝から太陽の照りつける暑い日でした。家の前は田んぼが広がり遠くには川が流れている開けたところでした。昭和20年8月6日、私は小学校6年生で疎開先の安小中学校に通学していました。そのころは学校に行っても勉強するよりも動労奉仕のほうが多くて、勉強はあまりありませんでした。その日も学校に行き大掃除をしていました。用務員室にいたとき急にピカ!!と光ったと思えばしばらくしてドーンと大きな音がして何事かと耳をそばだててました。棚のものが落ちて地響きがしたように思いました。慌てて外に飛び出していました。学校の校庭に集合して校長先生の話聞きしばらくして下校しました。私の家は歩いて20分くらいのところにあります。川のほとりを歩いて帰りかけますと急に、雨が降り出しました。見ると黒い雨です。傘も持たずずっと雨の中を歩いて帰りました。この雨が問題の黒い雨だったのです。放射能をたっぷり含んだ毒の水だったのです。何も知らない私はそれを全身に浴びたわけです。お昼ご飯を食べて外を見ていたら空から大きな物がふって来ます。ふわふわと風に流されて家の前の田んぼに落ちました。大きなとんでした。空を見るとドーナツ状に黒い煙が丸く輪を書いているのが見えます。広島市内から30キロ離れたところに行きました。翌日、親戚のいとこの中学1年生の子が返ってこないと言われ、父は探しに行きました。市内に入ると一面焼け野原のがれきの道で、そこそこに人が倒れている状態でお水をくださいお水をくださいと言ったそうです。市内の建物疎開のために動員され道幅を広げるために家を壊

目黒区平和都市宣言

かつて人びとは、戦火に包まれ悲しい歴史の一ページをつくった。時は移り、今、平和の尊さをしみじみと思う。青い空、緑の木々。街には明るいあいさつがかわされ、人びとの顔にほほえみが浮かぶ。この幸せを再び失ってはならない。わたくしたちは、地球のすべての人びととともに永遠の平和を築くよう努力する。この誓いをこめて、目黒区は平和憲法を擁護し、核兵器のない平和都市であることを宣言する。

昭和60年5月3日 目黒区

す仕事をしていました。8時集合で丁度仕事にかかったとき原爆が頭上で炸裂したのです。頭の毛も着ているものも一瞬で焼けただけ皮膚まで焼けてしまったのです。探し歩いてもみな焼け焦げて見極めがつかず、ベルトのバックルの裏をかえして名前を見つけたといいました。顔も体も一瞬のうちに焼けてしまった無残な中学生たち、どんなにか熱かったことでしょうか。父はその後半から1年、足に傷ができなかなか治らなかったそうです。体もだるくゴロゴロ休んでいました。原爆から2日目、学校から呼び出しがかかり、広島から歩いてきた被爆者の方々を学校で受け入れ救護所を設け手当てをしました。そのお世話を私たち小学生がすることになりました。道を歩いている姿は手の先からぼろが下がっているように見える焼けただれた姿でした。教室に並んで寝かされていました。どんな救護をしたのでしょうか。水をくださいと言われて差し上げることくらいしかできなかったと思います。私達は黒い雨による被爆者手帳はいただけませんでした。しかしこの援護活動により友人同士の承認により手帳を何年か後にいただきました。私は30年後甲状腺腫瘍を発し甲状腺を切りました。その数年後子宮筋腫を発し卵巣も取りました。ホルモンを作る機能を2つまで失い、体調を崩してすぐに疲れるようになりました。休んでは動き、休んでは動くという状態です。食生活にも気を付けています。しかし親が食べ物に気を付けてくれたお陰でここまで長生きできたと思っています。

広島県商工経済会の屋上から見た 広島県産業奨励館(原爆ドーム)と爆心地付近



建物は一瞬にして大破し、天井から火を噴いて全焼した。爆風がほとんど真上から到達したため、建物の壁の一部は倒壊を免れ、ドームの鉄骨とともに象徴的な姿をさらした。(爆心地からの距離260m) 撮影/米軍 提供・所蔵/広島平和記念資料館

地区巡回写真展「広島・長崎被爆写真展」

地区	会場	日程
北部	東山住区センター(東山2-24-30)	8月13日(土)~23日(火)
中央	中央町さくらプラザ(中央町2-4-18)	8月10日(水)~17日(水)
南部	目黒本町社会教育館(目黒本町2-1-20)	8月19日(金)~31日(水) 12:00
西部	八雲住区センター(八雲1-10-5)	7月30日(土)~8月9日(火)

広島市での原爆投下時の状況

1945年8月6日、深夜0時25分に出された空襲警報が午前2時10分に解除され、午前7時9分にまた警戒警報が鳴りました。この時はアメリカ軍1機が通過していったため、警報は午前7時31分に解除され、人々は防空壕や避難場所から帰宅し、それぞれの1日を始めていました。そして午前8時15分、人類史上最初の原子爆弾が広島に投下されました。原子爆弾は、投下から43秒後、地上600メートルの上空で目もくらむ閃光を放って炸裂し、小型の太陽ともいえる灼熱の火球を作りました。爆発の瞬間、強烈な熱線と放射線が四方へ放射されるとともに、周囲の空気が膨張して超高圧の爆風となり、熱線、爆風、放射線が複雑に作用して大きな被害をもたらしました。

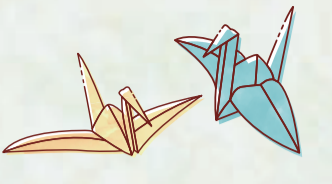
原爆の日・終戦記念日に黙とうを

- 広島原爆の日 8月6日(土)8:15
- 長崎原爆の日 8月9日(火)11:02
- 終戦記念日 8月15日(月)12:00

平和のための写真・資料展

図8月2日(火)~16日(火)8:30~17:00
場総合庁舎本館1階西口ロビー
内・広島・長崎被爆写真
・東京大空襲記録写真
・令和元年度平和の特派員体験報告
・令和4年度平和祈念標語優秀賞作品 (ほか)

平和記念事業 8月6日(土)



平和祈念のつどい

時9:30~11:00
場区民センターホール(目黒2-4-36)
内・平和都市宣言の朗読 ・黙とう・献花・あいさつ ・平和祈念標語の朗読・入賞者の表彰
・平和の特派員体験報告



平和の石のつどい

時8:10~8:25
場「平和の石」(中目黒2-19-18 中目黒しぜんとなかよし公園内)
内黙とう・献花・あいさつ
▶平和の石
国際平和年の昭和61年、区職員と広島市職員との交流がきっかけで、被爆した広島市庁舎の階段の一部が当時の広島市長のメッセージとともに寄贈されました。



平和の鐘の打鐘

時11:00から(1時間程度)
場めぐろ平和の鐘(目黒2-4-36 区民センター公園内)
内平和を願って、めぐろ平和の鐘を、1人1回ずつ打ちます
▶めぐろ平和の鐘
区が平和都市宣言をした記念として、人間国宝で名誉区民の鍍金家、香取正彦氏から寄贈された鐘です。



平和祈念標語優秀賞

4年度は、応募総数5,132点のうち、区立小・中学校から1点ずつの計31作品が優秀賞に選ばれました。(敬称略)

小学生の部
シャボン玉 「ありがとう」の言葉をのせて 平和な町へ 八雲小学校5年 満武玲央菜
一人一人の力がみんなのえがおに変わって。 菅刈小学校6年 天田拓弥
平和は「普通」じゃない みんなでつくり上げるものだ 下目黒小学校6年 中村彩希
ぼくたちは「武器」をすてて 「平和」に向かう羽をもつ。 碑小学校5年 新志咲太朗
きずつけない 世界に一つの 大事な命 中目黒小学校5年 中安陽香
自分のやった小さな一歩 その一歩で 世界中の幸せ増える 油面小学校6年 森本眺太郎
平和だけ 願っていても 変わらない 大岡山小学校5年 全唯南
顔あげて 光はきつと 見えてくる 烏森小学校5年 小山将吾
一人ひとりが 平和をつくる 一ピース 向原小学校6年 川端心結
聞こう 話そう 平和のために 五本木小学校6年 川口創太郎
中学生の部
戦場に チェッカーフラッグ はためかせ 第一中学校3年 中村颯太
「憧れ」は みんなが明日を 生かせる希望 第七中学校3年 林ももえ
平和とは、戦争をとめることではない 戦争を永遠に断ち切ることだ 第八中学校2年 平野貴太郎
僕たちが新しい平和の一ページ 第九中学校2年 後藤賢太

めめごとや 小さな争い 無くすことも 世界をみちびく 平和への一歩 鷹番小学校6年 齋藤鏡花
みんなのチガイ 認め合えると 平和がミノル 田道小学校6年 久保田美結
泣かないで あなたの笑顔を守りたい 月光原小学校5年 佐藤咲
「ありがとう」 小さな幸せスタートに 平和な世界 築こうよ 駒場小学校6年 藤木紗穂
一人が変われば 周りも変わる そしたら未来も変わって 緑ヶ丘小学校5年 御所園智也
つなげよう 平和の翼 その先も 原町小学校6年 下出和花
平和は待っても来ない、自分で作るんだ。 不動小学校5年 川北凜生
考えよう相手の気持ち 自分の気持ち 小さな一歩が平和をつくる 上目黒小学校6年 北村かれん
平和な世 ねがうだけでは かなわない 東根小学校6年 後藤悠希
ありふれた 小さな幸せ 守ろうよ 中根小学校5年 林干那帆
一人じゃない みんなで作る 平和の星を 宮前小学校5年 奥村慧吾
毎日の 小さな平和 忘れずに 東山小学校6年 沼田咲希
過去を学び 「一」行動し 未来を幸せに 第七中学校3年 小川結悠
鳩が翔ぶ 平和を轟った 大空に 第十一中学校2年 栗山栞一
戦争を やめろやめろと 泣く子ども 東山中学校3年 吉村遥
考えよう 見送る親の 気持ちをささ 目黒中央中学校2年 枝村瑠珂
一つの想いのピースで未来は変えられない。世界中からピースを集めて 平和の文字を。 大島中学校1年 渡辺羽菜